

千葉県納税貯蓄組合総連合会 優秀賞

音楽は自分の未来、みんなの未来

柏市立柏中学校 第三学年 田家 梨央

誰しも一度は耳にしたことがあるだろう、歴史に残る名曲、「We Are the World」。一九八五年、今もしばしばニュースで報じられているアフリカの飢餓状態が当時大きな問題となっていた。そこで、マイケル・ジャクソンなど、世界のスーパースターであったアーティストたち総勢四十五人が大集結し、アフリカでご飯が食べられない人や、栄養不足で動けなくなってしまった人など、様々な貧困状態にある人々に向けたチャリティーソングを作り上げたのだ。曲を色々な形で世界中に届け、たくさんの人に愛される名曲となった。

チャリティーソングとして、世界中のみんなの励みにもなったであろうこの曲。アフリカの人々への寄付金が集まり、その額、日本円にして約百五十八億円。見たことのない額であった。

普段、私たちの身の周りには、たくさん税がある。また、税を必要としている理由は、公共サービスや社会保障、経済の安定化など、様々である。そこで、お金にかかるものであれば、何でも税がかかるのだろうか？と思いを調べると、外国への寄付は非課税となっていることが分かった。ちなみに、非課税と非課税には少し違いがあり、非課税は消費税が課税される要件を満たしていないが、非課税は要件を満たしているのにも関わらず、消費税を課税しないとしている。つまり、消費税が課税される理由が異なるということ。そうになると、この外国に向けたチャリティーソングの寄付のように、課税されない場合もあれば、寄付の形によっては課税されるときもあって、形によって決められている。

私はなぜ、この税の作文で「We Are the World」について触れたのか。それは、社会の授業を受けているとき、第二次世界大戦のお話をきいて、頭の中でこの曲が再生されたからである。

この曲を初めて知ったのは、中学一年生の冬頃で、私の大好きだった音楽科で吹奏楽部の顧問でもあった彼が授業で教えてくれた。私にとって、「音楽はこんなにも素晴らしくみんなが一つになれるものだ。」と、部活を通して気付かせてくれた恩師。みんなを愛し、愛された先生。進級の時がきて、先生は他の学校へ行ってしまった。進級し、顧問の先生も変わり、慣れない環境での日々が続いた。その影響で、人間関係もうまくいかなくて気持ちが不安定な時期もありました。でも、私は今年の夏で引退。ここで負けていられない。絶対に高校合格して、吹奏楽を続け、先生を喜ばせるんだ！と決心しました。

この前、学年主任の先生に言われました。「今年の夏休みは休んでいる暇はない。夏だ。勉強ごっこはやめて、一人で勉強しなさい。」この夏、最後の部活を全力で楽しみ、受験勉強との両立を頑張ります。今年度から新たに赴任してきた顧問の先生の期待を背負い、みんなを支え、最後の勝負をしたいと思います。